

■肺がん圧着はがき\_W297×H152mm(仕上がりW104×H152mm)\_外面\_180126

部分はテキスト可変部分となり、未アウトラインです。

変更箇所のない中面は、すべてアウトラインをかけています。

表1\_96.5mm

P5\_104mm

P6\_96.5mm

152mm



転送不要

## 肺がん検診のお知らせ

一年に **5分** ください。



〇〇市 福祉保健部 健康推進課

OPEN

〇〇市より0,000円の助成<sup>\*1</sup>があります。

### ■対象者

〇〇市在住の40歳以上の方

### ■受診期間

令和〇〇年〇月〇日～  
令和〇〇年〇月〇日まで

例年、受診期間が近付くと大変混み合います。お早めにご予約・ご受診ください。

### ■検査費用

肺がん検診は助成がない場合5,000円程度かかりますが、市から助成が出るため、自己負担0,000円で受診できます。

検査費用	約0,000円
- 助成金	約0,000円
自己負担金	0,000円

※1 現金が支給されるわけではありません。

## 肺がん検診の流れ

### 1.実施医療機関に直接予約する

市ホームページに掲載されている医療機関リストからお選びください。

詳しくは

もしくは、〇〇市にお電話ください。

TEL:000-0000-0000

### 3.受診する

自己負担金0,000円を支払い受診してください。

■受診内容 ・問診 ・胸のレントゲン撮影  
・喀痰(かたん)細胞診(問診により必要な方のみ)

### 4.結果<sup>\*2</sup>

約2～3週間後に自宅に郵送されます。  
検査結果を確認してください。

検診で「要精密検査」となった場合は、  
その後必ず精密検査を受けてください。  
精密検査はCT、もしくは気管支鏡検査などです。

※2 検診は自治体と、各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は関係機関で共有され、市区町村へと報告されます。また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は最初に受診した医療機関にも後日、精密検査結果が共有されます。(医療機関の検診精度向上のため)

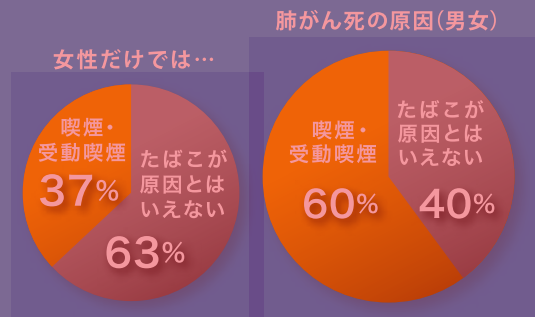
表4\_96.5mm

P2\_104mm

P3\_96.5mm

152mm

肺がん死の2人にひとり、  
**たばこが原因とは  
 いえません。**  
 喫煙者でも受動喫煙者でも  
 ありません。<sup>※</sup>



※ Inoue M et al. (Ann Oncol 2012;23:1362-1369) をもとに推計

**たばこを吸わなくても、肺がん検診を。**

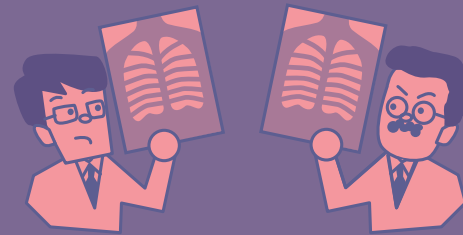
〇〇市 健康福祉部 〇〇〇〇課  
 〒000-0000 〇〇〇〇〇〇〇〇〇-00-0  
 TEL 000-000-0000 FAX 000-000-0000

OPEN

POSTCARD

肺がん検診では、二重読影が  
 国の基準で定められています。<sup>※1</sup>

**2人の医師が、  
 別々にチェック。**



胸部レントゲンのフィルムは、  
 2人の医師がじっくり調べることになっています。  
 これが、肺がんの影を見落とさないために  
 国の基準で定められた、**二重読影**です。<sup>※2</sup>

たばこを吸う人は、たばこを吸わない人に比べて肺がんで死亡する  
 リスクが高くなり、たばこを吸う本数や年数が多いほど肺がんになりやすい  
 という研究結果が出ています。喫煙者本人のみならず、禁煙によっ  
 てご自身と周りの人の健康な肺を守りましょう。

※1 厚生労働省「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針」  
 ※2 検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つからない場合もあります。

肺がんは、死亡数が  
 男女合わせて**いちばん多いがん**です。

■肺がんの死亡数 **男性 第1位** **女性 第2位**

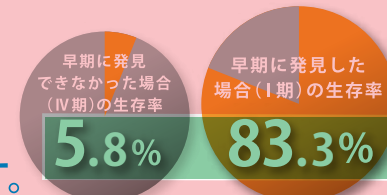
出典：国立がん研究センター がん情報サービス「がん登録・統計」  
 人口動態統計(2018年)

初期には自覚症状が  
 ほとんどないのが、  
**肺がんの怖さ**です。



自覚症状がないので、初期の肺がんは検診でなければ  
 ほとんど見つかりません。

早期に発見  
 すれば、  
**生存率が<sup>※3</sup>  
 高いがん**です。



早期に発見するために、自覚症状がなくても  
**検診は毎年定期的に受けることを強くお勧めします**  
 ただし、血痰、長引く咳、胸痛、声のかれ、息切れなどの  
 症状がある場合は次の検診を待たずに医療機関を受診してください。

※3 ここでいう「生存率」とは、診断時からの5年相対生存率です。  
 相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。  
 出典：全がん協加盟施設における5年生存率(2009～2011年診断例)

この圧着はがきは、国立がん研究センター希望の虹プロジェクトが作成しました。